

—みんなで育む みどり豊かな美しい街 横浜—

横浜みどりアップ計画5か年の評価・提案

横浜みどりアップ計画市民推進会議 2023 年度報告書

案

【抜粋】

横浜みどりアップ計画市民推進会議

2024 年 ○月

目 次

1	はじめに	1
2	横浜みどリアップ計画と市民推進会議	2
	(1) 横浜みどリアップ計画	
	(2) 横浜みどリアップ計画市民推進会議	
3	市民推進会議の活動実績	5
	(1) 活動の概要	
	(2) 活動の詳細内容	
	①市民推進会議（全体会議）	
	②施策別専門部会	
	③広報・見える化部会	
	④調査部会（現地調査）	
4	横浜みどリアップ計画 5か年の評価・提案	15
	◆計画の体系	
	◆各計画の柱のハイライト	
	◆評価・提案の概要	
	(1) 計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む	20
	施策1 樹林地の確実な保全の推進	
	施策2 良好な森を育成する取組の推進	
	施策3 森と市民とをつなげる取組の推進	
	(2) 計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる	28
	施策1 農に親しむ取組の推進	
	施策2 地産地消の推進	
	(3) 計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる	38
	施策1 市民が実感できる緑をつくり、育む取組の推進	
	施策2 緑や花に親しむ取組の推進	
	(4) 効果的な広報の展開	46
	市民の理解を広げる広報の展開	
5	市民推進会議委員名簿	52
6	市民推進会議委員からのコメント	55
7	市民推進会議広報誌「Yokohama みどリアップ Action」、 「森づくり体験会」の案内チラシ	56

4 横浜みどりアップ計画 5か年の評価・提案

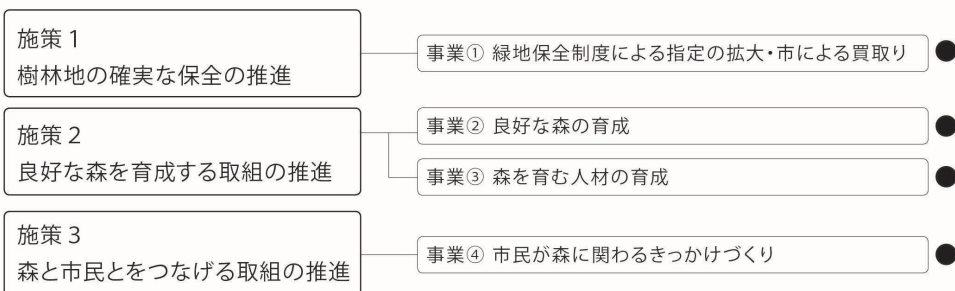
市民推進会議では、横浜みどりアップ計画の「市民とともに次世代につなぐ森を育む(「森を育む」)」、「市民が身近に農を感じる場をつくる(「農を感じる」)」、「市民が実感できる緑や花をつくる(「緑をつくる」)」の施策と、横浜みどりアップ計画を市民の皆さまに周知するための「広報・PR」について、現地調査で活動団体などからいただいた意見も踏まえて、評価・提案を行いました。

なお、横浜みどりアップ計画で進めている事業・取組には、横浜みどり税の導入時に定めた用途に沿って横浜みどり税を充当している事業・取組と、横浜みどり税を充当せずに進めている事業・取組がありますが、市民推進会議では市民の皆さまが負担している横浜みどり税を充当している事業・取組を中心に評価・提案を行いました。

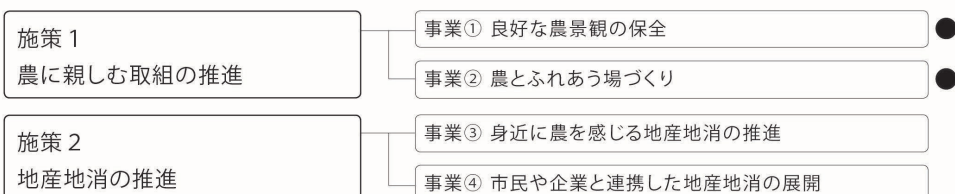
◆計画の体系

●：横浜みどり税を充当している事業・取組

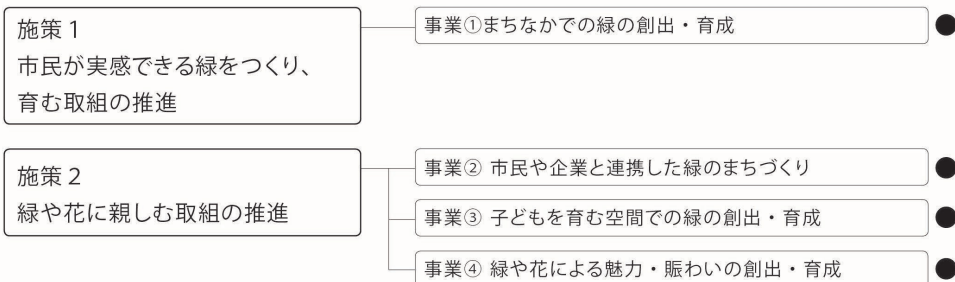
計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む



計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる



計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる



効果的な広報の展開

事業① 市民の理解を広げる広報の展開

◆各計画の柱のハイライト

2023年度の実施状況について、これまでの実施状況とあわせて振り返ります。

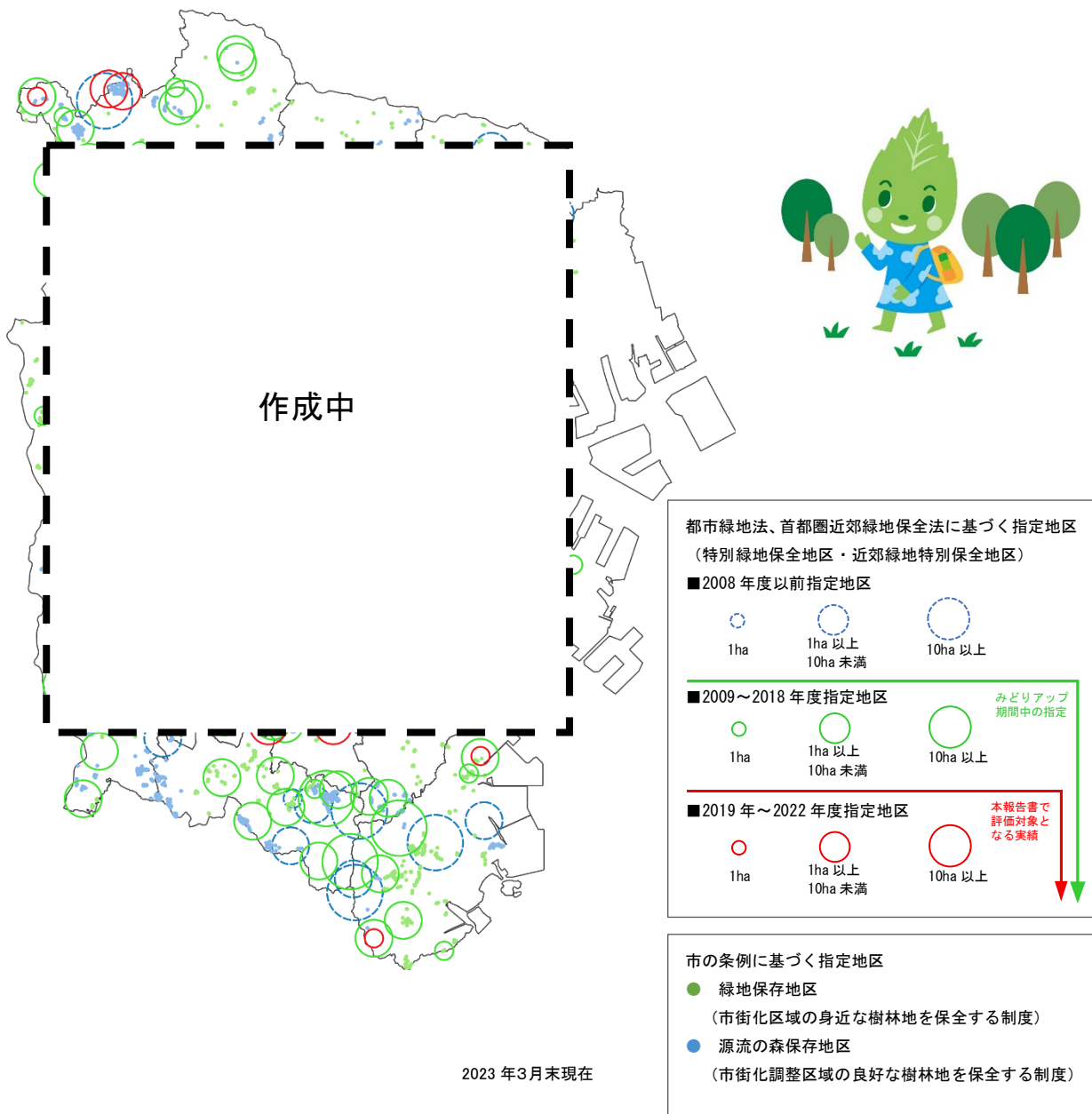


計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

緑地保全制度による指定の拡大が進んでいます

特別緑地保全地区などの緑地保全制度による指定は、緑のネットワークの核となるまとまりのある樹林地を中心に土地所有者へ働きかけを行い、2009年度から2023年度の15年間で約〇〇ha、2023年度は〇〇ha指定されました。

<緑地保全制度による指定の状況>





計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

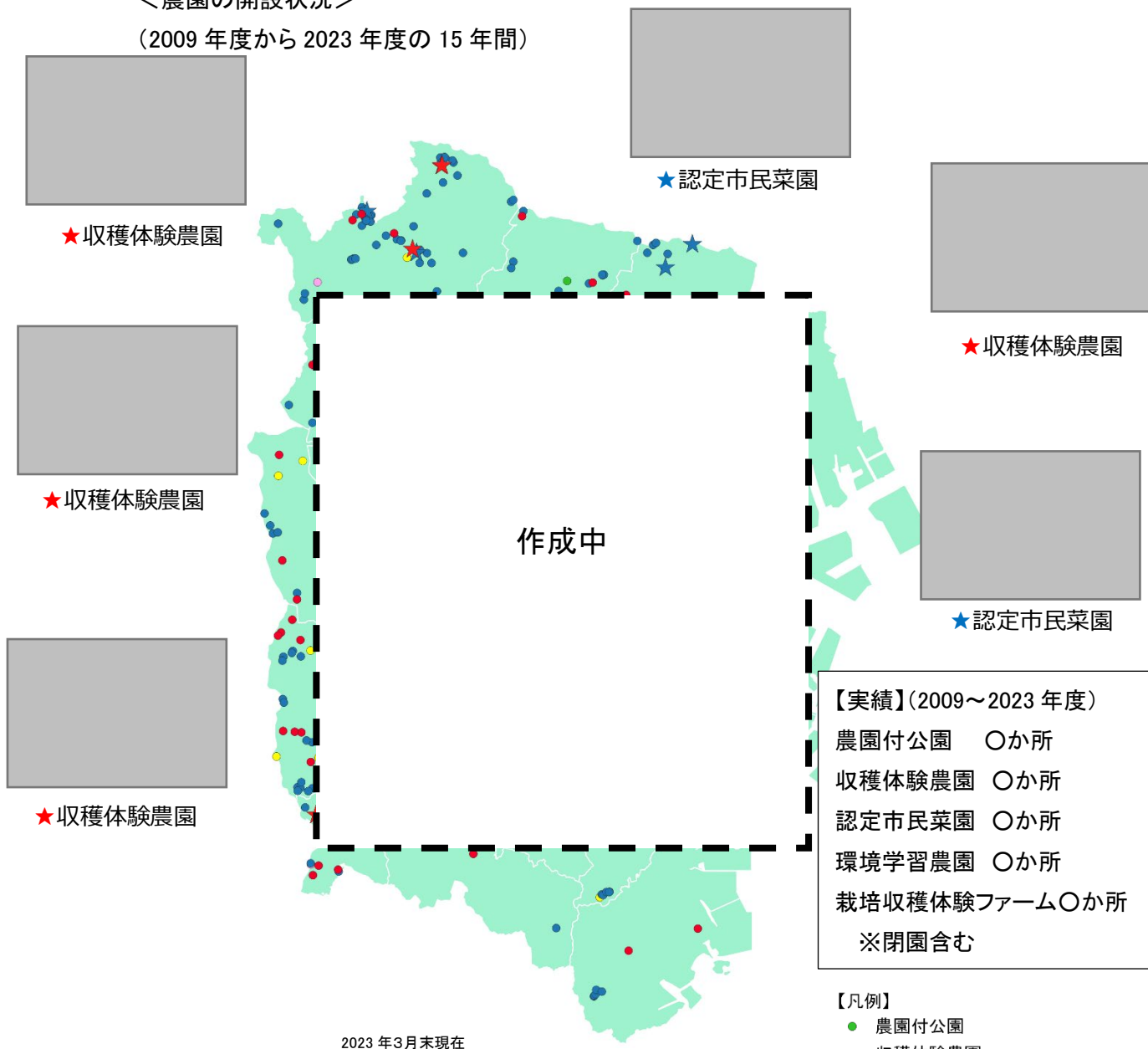
農園の開設が進んでいます

野菜の収穫や果実のもぎとりなどを気軽に体験できる収穫体験農園、区画割りされた農園で本格的な農作業が出来る認定市民菜園や農園付公園など、様々な市民ニーズに合わせた農園の開設が進んでいます。



<農園の開設状況>

(2009年度から2023年度の15年間)



【実績】(2009～2023年度)
 農園付公園 ○か所
 収穫体験農園 ○か所
 認定市民菜園 ○か所
 環境学習農園 ○か所
 栽培収穫体験ファーム○か所
 ※閉園含む

- 【凡例】**
- 農園付公園
 - 収穫体験農園
 - 認定市民菜園
 - 環境学習農園
 - 栽培収穫体験ファーム
 - ★ R4収穫体験農園
 - ★ R4認定市民菜園

2023年3月末現在

★収穫体験農園



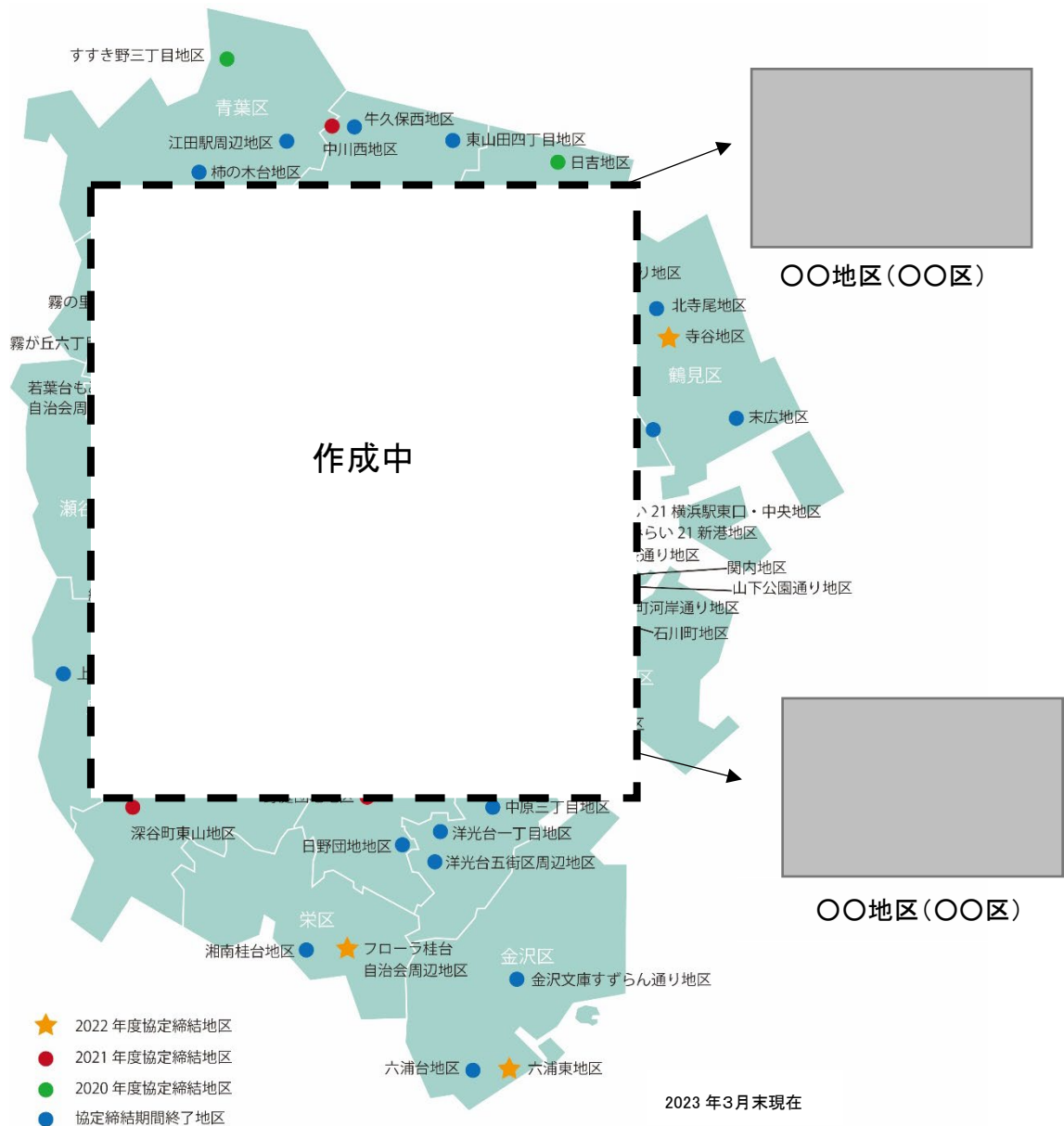
計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

緑のまちづくりが進んでいます

市内各地で様々な緑をつくる自主的な活動が行われ、2009 年度から 2023 年度の 15 年間で市内 67 地区において、魅力ある緑のまちづくりが進んでいます。2023 年度は新たに○地区で市と協定を締結、2024 年度から緑化に取り組めます。



<地域緑のまちづくり実施地区一覧>



※横浜みどりアップ計画の詳細な実績については、「5か年(2019 年度～2023 年度)の事業・取組の評価・検証」をご覧ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/midori-koen/midoriup/jigyhoukou.html>

◆評価・提案の概要

「計画の柱1:市民とともに次世代につなぐ森を育む」については、〇〇。

「計画の柱2:市民が身近に農を感じる場をつくる」については、〇〇。

「計画の柱3:市民が実感できる緑や花をつくる」については、街の賑わいづくり等につながる緑の創出や地域で緑を創出・継承する市民や事業者の取組の支援が進められてきました。

市民が実感できる緑をつくり、育む取組の推進では、公共施設・公有地での緑の創出・育成や公有地によるシンボリックな緑の創出、並木の再生等、街の魅力増進や愛着を持ってもらえるよう、引き続き取組を推進してください。

緑や花に親しむ取組の推進では、学校や市民、地域のニーズに応じた取組が展開されていき、より一層多様な参加者が増えていくことで各区・全市に取組や魅力ある緑花空間が広がっていくことを期待しています。

横浜で開催される GREEN×EXPO 2027 を、市民力をいかした横浜ならではの緑や花の取組を示す機会ととらえながら、これまでの成果や課題を踏まえ、緑や花の取組が今後も充実・発展されていくことを期待しています。

「効果的な広報の展開」については、〇〇。

(3) 計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

街の魅力を高め、賑わいづくりにつながる緑や花、街路樹などの緑の創出に、緑のネットワーク形成も念頭において取り組みます。また、地域で緑を創出・継承する市民や事業者の取組を支援します。

施策1 市民が実感できる緑をつくり、育む取組の推進

事業① まちなかでの緑の創出・育成

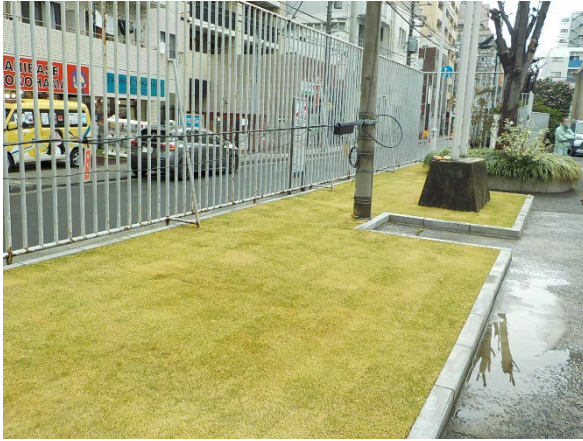
みどり税

●事業概要(計画書から抜粋)

多くの市民の目にふれる場所での緑化や目にする機会の多い街路樹を良好に育成するための取組、地域で古くから親しまれている名木古木の保存など、市民が実感でき、生物多様性の保全に寄与し、地域の良好な景観形成や賑わい創出につながる緑の創出・育成を推進します。

●実績

項目	2023 年度		5か年の実績	5か年の目標
	目標	実績		
取組(1) 公共施設・公有地での緑の創出・育成				
緑の創出	7 か所	1 か所	35 か所	36 か所
緑の維持管理	推進	一か所	204 か所	推進
取組(2) 街路樹による良好な景観の創出・育成				
並木の再生	2 路線	一路線	9 路線 (7 路線完了・ 2 路線整備中)	10 路線
空き枿の補植	推進	高木一本 低木一本	高木 232 本 低木 4,126 本	推進
良好な維持管理	18 区で推進	一本(18 区で実施)	68,676 本(18 区で実施)	18 区で推進
取組(3) シンボリックな緑の創出・育成				
公有地化によるシンボリックな緑の創出・管理	推進	緑の創出:2か所 (整備中 2か所) 緑の管理:2か所	緑の創出:3か所 (整備完了 1か所 整備中 2か所) 緑の管理:8か所	推進 (想定箇所:継続2か所、 新規2か所)
公開性のある緑空間の創出支援	推進	0 か所	6 か所	推進 (想定箇所:10 か所)
取組(4) 建築緑化保全契約の締結				
建築物緑化保全契約の締結	制度運用	0 件	59 件	制度運用
取組(5) 名木古木の保存				
名木古木の保存	推進	新規指定:一本 維持管理助成:33 件	新規指定:67 本 維持管理助成:301 件	推進



公開性のある緑空間の創出支援
(中区)



名木古木(磯子区)



公共施設・公有地での緑の創出
中本牧コミュニティハウス敷地内こどもの遊び場(中区)

市担当者からのコメント(環境創造局みどりアップ推進課・道路局施設課)

- 公共施設・公有地での緑の創出・育成では、区庁舎や地区センターなどの身近な公共施設で、花壇整備や屋上緑化などの緑化を進めました。緑と花のある魅力的な公共施設を多くの市民の方に感じていただければ引き続き取組を進めていきます。
- 並木の再生では、街路樹が健全に生育する環境に配慮して、地域で愛されている老朽化した桜並木を更新しました。また、維持管理では、限られた道路空間の中で街なかの景観形成や緑陰形成による暑さ緩和などに寄与するために、剪定の頻度を増やす等のきめ細やかな管理を計画的に行いました。
- 公有地化によるシンボリックな緑の創出では、2023年度に港の見える丘公園の設計及び(仮称)北寺尾六丁目公園の設計・整備を行っています。5年間で3か所の緑の創出に取り組むとともにこれまで創出した緑の管理を進めました。
- 名木古木の保存事業では、負担となっている樹木の維持管理を支援することにより故事来歴があり地域に親しまれている樹木の保存につなげています。今後も、利用者のニーズを踏まえながら保存に必要な支援をしていきます。

◆施策1についての評価・提案

- 公共施設・公有地での緑の創出・育成や公有地によるシンボリックな緑の創出・育成では市民が実感できる身近な緑として、街の魅力の増進につながるよう、引き続き取組を推進してください。
- 多くの市民が目にする機会の多い街路樹において、きめ細やかな剪定が行われ良好な景観がつくられることは、市民の緑の実感につながりやすいといえます。取組をきっかけに地域の方々が街路樹に愛着を持ってもらえるよう、周知を含めて取組を進めていくことを期待しています。
- 公開性のある緑空間の創出支援や建築物緑化保全契約の締結など、民有地において緑を創出する取組の実績が低迷しています。市民の実感につながる緑の創出のためには民有地の緑が重要となっています。取組や支援制度がより認知・活用されるよう、効果的なPRを行うとともに、より活用されやすい制度となるよう見直しを進めることで、市民・企業の緑化の取組が促進されることを期待しています。



施策2 緑や花に親しむ取組の推進

事業② 市民や企業と連携した緑のまちづくり

みどり税

●事業概要(計画書から抜粋)

緑あふれる魅力的な街をつくるためには、市民や企業と連携した取組が不可欠です。地域が主体となり、地域にふさわしい緑を創出する取組など、緑の創出・育成に積極的に取り組む市民や企業を支援し、市民の生活の身近な場所で、緑や花に親しむきっかけづくりを推進します。

また、第33回全国都市緑化よこはまフェアなど、これまで多くの市民や企業の協力で展開された各区での緑や花に親しむ取組を、引き続き推進します。

●実績

項目	2023年度		5か年の実績	5か年の目標
	目標	実績		
取組(1) 地域緑のまちづくり				
地域緑のまちづくり	新規6地区	新規1地区	新規20地区	新規30地区
取組(2) 地域に根差した緑や花の楽しみづくり				
緑や花を身近に感じる各区の取組	18区で推進	18区で推進	18区で推進	18区で推進
地域の花いっぱいにつながる取組	推進	推進	推進	推進
取組(3) 人生記念樹の配布				
人生記念樹の配布	8,000本	5,882本	32,904本	40,000本配布



創出された民有地の緑化
(旭区白根二丁目地区)
【地域緑のまちづくり】



活動報告会の様子
(港北区綱島西地区)
【地域緑のまちづくり】

●事業概要(計画書から抜粋)

次世代を担う子どもたちが緑と親しみ、感性豊かに成長できるよう、子どもが多くの時間を過ごす保育園、幼稚園、小中学校を対象に、施設ごとのニーズに合わせた多様な緑の創出・育成を進めます。緑の創出にあたっては、子どもたちと生き物とのふれあいが生まれるような空間づくりに取り組みます。

●実績

項目	2023年度		5か年の実績	5か年の目標
	目標	実績		
取組(1) 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成				
緑の創出	20か所	35か所程度	203か所程度	100か所
緑の維持管理	推進	25か所程度	492か所程度	推進



園庭の花壇整備
(港北区港北保育園)



園庭のビオトープ整備
(南区清水ヶ丘保育園)



学校へのビオトープアドバイザー派遣
(都筑区川和小学校)



校庭・園庭芝生の育て方講座
(神奈川区幸ヶ谷小学校)

●事業概要(計画書から抜粋)

第33回全国都市緑化よこはまフェアには、多くの人が訪れ、緑や花が人を呼び込み、街の賑わいを創出しました。多くの市民が時間を過ごし、国内外から多くの観光客が訪れるエリアである都心臨海部などにおいて、これらの取組を継承し、公共空間を中心に緑や花による空間演出や質の高い維持管理を集中的に展開し、街の魅力や回遊性の向上・賑わいづくりにつなげます。

●実績

項目	2023年度		5か年の実績	5か年の目標
	目標	実績		
取組(1) 都心臨海部等の緑花※による魅力ある空間づくり				
緑花による空間づくりと維持管理	推進	13か所	71か所	推進

※緑花(りよくか)とは・・・樹木や芝生などの「緑」と四季折々の彩(いろどり)としての「花」を組み合わせて植栽することで、街の魅力形成や賑わいづくりを行うものです。



緑花の維持管理
(中区港の見える丘公園)



緑花の維持管理
(中区山下公園)



花の名所づくり
(保土ヶ谷区横浜市児童遊園地)



緑花の維持管理
(中区日本大通り)

市担当者からのコメント(環境創造局みどりアップ推進課)

- 地域緑のまちづくり事業では、提案団体それぞれの緑化候補場所の現地を確認しながら、個別の事業説明を実施しました。また、地域緑化計画策定に向けた支援を行い、2023年度は3団体が選考を通過しました。
この5年間はコロナ禍であり事業説明会などの運営を試行錯誤し、5年間で20地区の協定となりました。協定が結ばれた地区では花と緑のまちづくりの機運が着実に高まっていると感じています。また、協定締結期間が終了する団体からも、地域に緑や花が増えたという喜びの声や、まちなかの緑化活動を通じて高齢者と子どもなど地域の新しいつながりが生まれたなどの声が寄せられました。一方で、協定期間終了後の活動継続について、担い手の高齢化や活動資金不足などの課題があり、活用可能な支援の周知などがより重要になっています。
- 緑や花を身近に感じる各区の取組では、身近な公園や地域での花壇づくり、ガーデニング講座など、市民・企業等と連携した取組が広がっています。引き続き、街の魅力向上・賑わいの創出とともに、GREEN×EXPO 2027に向けた機運醸成にもつながっていくよう取り組んでいきます。
- 子どもを育む空間での緑の創出・育成では、保育園や小学校等で花壇づくりや記念植樹、園庭・校庭の芝生化を進めています。子どもたちが青々とした芝生に寝転がったり、側転などの運動をしたり、芝生ならではの過ごし方をしています。またビオトープづくりを通して、生きものに触れる機会が増え、学校では生活科や総合学習などで活用されている事例もあります。
- 緑花による空間づくりは、山下公園や港の見える丘公園、日本大通りなどの都心臨海部や主要な駅前等で緑や花による街の魅力や賑わいづくりを進めました。また都心臨海部に加え里山ガーデンなど、ガーデンネックレス横浜として緑や花の魅力を市内外へ発信し多くの市民や来街者に楽しんでいただくことができました。引き続き、18区での取組などと合わせて、ガーデンシティ横浜の魅力を創出・発信する取組を続けています。

◆施策2についての評価・提案

- 地域緑のまちづくりでは5か年の目標である30地区が20地区と下回ってしまったものの、コロナ禍による地域団体の活動の困難さや取組の工夫に挑戦する5か年でもありました。引き続きアフターコロナの世の中での地域活動のあり方を見据えながら、取組を推進してください。
- 子どもを育む空間での緑の創出・育成では、5か年の目標を大幅に超え、ニーズと丁寧に向かい合い子どもたちが緑に親しむ空間づくりが進められています。学校ごとのニーズに応じた取組が展開されることを期待しています。
- 緑や花を身近に感じる各区の取組や緑花による魅力ある空間づくりでは、地域に根差した取組や来街者に楽しんでもらえるような緑花空間の創出が進んでいます。発信力のある横浜市ならではの取組を推進していき、GREEN×EXPO 2027に向けて、より一層の市民・企業の参加が広がっていくことを期待しています。

「緑をつくる」施策を検討する部会 部会長コメント

.....

池邊 このみ



6 市民推進会議委員からのコメント

市民推進会議の委員を務めてきたなかで感じたことや、生活の中で、緑について日ごろ各委員が感じたことについて、委員の皆さまからもコメントをいただきました。

委員ごとにコメントをいただきます。